

兩眼ノ失明ヲ免レ三月七日退院シ目下日雇業ニ從事シツテ家族ハ勿論宇内ニ般ニ其ノ聖恩ヲ篤キ感泣シツテテア
 右者一家ハ肩書地ニ於テ小作農ノ傍ラ日雇業ヲ爲シ極メテ貧困ナル生活ナルニ家族ハ夫○平當四十五年長男○作當二十五年ノ
 他七人ノ子女ヲ有シ尙本人ハ四年前ヨリ發病シ生計困難ナル爲メ治療ヲ受クル得テ小放任シ置キタル爲メ昨年十二月頃
 ヨリ病勢昂進シ殆ンド失明ノ状態ニ陥リ病苦ニ堪ヘ兼テ居ルヲ同村當局ニ於テ發見財賜濟生會救療患者トシテ同年十二月十日
 宇都宮市稻○眼科院ニテ診斷ヲ受ケタルニ兩眼睫毛亂生症右眼全虹彩脱ニ罹リ入院治療ヲ要スルモ診定アル翌十二日ヨリ
 二週間入院治療ヲ受ケタル結果右眼ハ失明セルモ幸ニモ左眼ヲ失明ヲ免レ全治シタルモノナリ患者ハ兩眼失明スルモ下諦以
 居リタルニ一眼ヲ拾ヒタルハ是偏ニ財賜濟生會ノ恩澤ニ依ルモノナリ本人ハ勿論家族皆感泣シ居レリハニ本年一月二十日同院

3 安蘇郡 新合村

日雇業 ○ 村 藏 ○ 當 五十三年

右者肩書地ニ於テ日雇業ヲ爲シ極メテ貧困ニシテ家族ハ妻ト二人ニテ本人ハ昨月十二月中ヨリ右大腿部化膿性筋炎ニ罹リタル
 治療ヲ受クル資力更ニ無ク非常ニ困却ノ折柄偶々本會ノアルヲ聞知シ所轄佐野警察署ニ出頭シ本年一月二十九日ヨリ向フ三
 週間ノ豫定ヲ以テ足利市昌平町中垣醫院ニ入院セシメ加療シタル結果漸次快方ニ向ヒ豫定ノ入院期日ヲ以テ略々全快シタルモ
 猶引續キ田沼町相田醫院ニ外來トシテ治療セシメタル結果本年三月二十日ヲ以テ右患部ハ全ク快癒シ健康體ニ復シ現在生業ニ
 従事シ居ル状態ニシテ之ガ救療ニ關シテハ本人ハ勿論村當局及一般村民ニ於テモ此ノ聖恩ニ感激シ居ル狀況ナリ

4 芳賀郡 清原村

日雇業 ○ 藏 妻

右者一家ハ肩書地ニ於テ日雇業ヲ爲シ居リ極メテ貧困ナル生活ナルニ家族ハ戶主○藏四十三年長女○子三年ハ三人暮シニテ
 夫○藏ハ性來怠惰者ニテ毎日酒色ニ耽リ家計ヲ顧ス辛シテ妻○メノ日雇ニテ生計ヲ維持セリ昭和九年三月末妻○メ罹病シタル
 モ生計困難ナルヲ以テ治療ヲ受クルコトヲ得ス放任シ置キタル爲病勢昂進セルニ偶々財賜濟生會ノ無料救療ノ制度アルヲ聞知
 シ所轄真岡警察署ニ出頭シ醫師ノ診察ヲ乞ヒタルニ肋膜炎ト診定サレ其後一ヶ月半モ病床ニアリ熱心ナル醫師ノ治療ト更生
 ニ向ヒタル夫○藏ノ親切ナル看護ノ效ナク六月二十六日死亡セリ妻○メノ死亡ニ依リ性來怠惰者タル夫○藏モ其ノ後知人ノ推
 薦ニヨリ上京就職シ長女○子ト共ニ幸福ニ歸レリ之モ偏ニ深ク其ノ皇恩ニ感泣シツテ允ルモノナリ

實施ノ概況

一、委託診療

治療券ヲ發行シ警察署長市町村長又ハ方面委員ヲシテ本縣恩賜醫療救護規程該管ノ患者ニ交付シ醫療ニ就カシメタリト正
 二、出張診療

縣下山間部ニシテ醫師常住セザル町村及醫師在住セル地地形交通其ノ他ノ關係上醫療ヲ受クルニ困難ナル別記地方ニ
 昭和七年度ヨリ引續キ出張診療所ヲ開設シ診療日ヲ定期ニ醫師ヲ出張セシメ診療ヲ行ヘリ尙出張診療所設置ノ地方ニ於
 テハ一般村民ノ便ヲ計リ救療該管者ノ診療ニ支障ヲ來ササル範圍内ニ於テ一般診療患者ノ診療ヲ爲サシメタリ

三、救急函藥品ノ補充

縣下山間部ニシテ醫師又ハ診療所ニ至ル山路相當ノ距離ヲ隔ツル地方ニシテ一旦要急ノ患者發生セル場合醫師ニ就ク迄ノ極ク簡單ナル應急處置ヲ講ゼシメル爲メ縣下一五二ヶ所ニ配置シタル救急函ノ藥品補充ヲ爲セ...

四、巡回診療

本縣ニ於テハ從前ヨリ出張診療所、救急函ノ設置等ヲ試ミ醫療ニ事缺ク山間僻陋地方ニ於ケル疾病窮民ノ救済ヲ實施スル、アルモ交通ニ恵マレヌ同地方ニアリテハ尙事實醫療ニ窮スルモノアリ、遺憾乍ラ之ガ施設ヲ以テ充分ナル救済ハ期シ能ハザル状態ニアリ、就テハ之ガ對策ヲ樹立スベク種々適當ナル施設ヲ考究中昨年十二月醫療救護費追加計シテ國庫ヨリ三、七五七回(濟生會ヲ通ジテノ分モ含ム)交付アリタルニ付本交付金ヲ基トシテ昭和十年二月一日ヨリ三月末日ニ至ル二ヶ月間カ...

- 一、山邊郡豊原村三ヶ谷
二、磯城郡多武峯村倉橋
三、宇陀郡内牧村高井
四、宇陀郡宇賀志村駒蹄
愛知縣
五、吉野郡白銀村平沼田
六、吉野郡十津川村西中
七、同 八、五百瀬
既設ノ大字經營ニ係ルニ無料診療ニ對シ利用患者ノ數ニ應ズル金額ヲ交付シテ治療ニ當ラシム...

出張診療所設置場所

別記

- 一、山邊郡豊原村三ヶ谷
二、磯城郡多武峯村倉橋
三、宇陀郡内牧村高井
四、宇陀郡宇賀志村駒蹄
愛知縣
五、吉野郡白銀村平沼田
六、吉野郡十津川村西中
七、同 八、五百瀬
既設ノ大字經營ニ係ルニ無料診療ニ對シ利用患者ノ數ニ應ズル金額ヲ交付シテ治療ニ當ラシム...

實施ノ概況

本年度ニ於ケル時局匡救醫療事業ハ昭和八年度ノ實績ニ徴シ多少ノ改善ヲナシタルモ大體之ヲ踏襲シ昭和九年未災害地救療費トシテ追加配當ヲ受クルニ及ビ各施設ヲ通シ災害地ニ對シテ特ニ救護ノ實ヲ計レリ...

一、縣直營

巡回診療

(一) 前期(昭和九年四月ヨリ同年十二月迄)

(イ) 班數 五班

(ロ) 班ノ組織 醫師、調劑員、運轉士、各専任一名

(ハ) 巡回方法

一班ノ巡回區域ヲ平均一三ヶ村トシテ其ノ中心地ニ駐在所ヲ設置ス、各班ハ診療用自動車ニ依リ、一日二、三ヶ町村ノ割合ヲ以テ毎週一回同一町村ヲ定期的ニ巡回ス

(ニ) 町村數 七十一ヶ町村(診療場所七十六ヶ所)

(二) 後期(昭和十年一月ヨリ同年三月迄)

(イ) 班數 七班

(ロ) 班ノ組織 前ニ同シ

(ハ) 巡回方法

班ノ増設ニヨリ災害地巡回町村ハ一週ニ二回若クハ一村ニ二ヶ所ノ診療場所ヲ設置シ他町村ヲ從來通り巡回ス

一週二回診療町村數 一三

診療場所増設町村 一一

新シク編入町村 四

(二) 町村數 十五ヶ町村(七診療場所九十四ヶ所)

(三) 一ヶ年診療成績

實 人 員 一六、九〇九人

治 療 延 日 數 一、三九一、八五九日

一日平均治療人員 六、四七四・〇七四人

二、恩賜 濟生會ヲ通シテ行フ施設

(一) 委託 醫 療

(イ) 醫師會ニ對スル委託

本縣ト縣醫師會トノ契約ニ依リ醫師會ハ所屬都市醫師會ノ會員ヲシテ委託ニ依ル診療ヲ行ハシ以外來ノ診療委託料ハ但

本醫師會健康保險點數計算規程ニ依リ計算シ一點ノ單價ヲ十錢トシ入院ノ委託料ハ一日八十錢トシ出張費別當金トシ

(ロ) 齒科醫師會ニ對スル委託

醫師會ニ準シ健康保險ニ依ルモノ、概ネ五割減ヲ標準トシ齒科醫師會ト契約セリ

(ハ) 名古屋醫科大學附屬醫院ニ對スル委託

入院ヲ主トシ入院料(診斷、投藥、注射、處置、等)一切ヲ治療費並ニ寢具脂及其他ノ設備費使用ヲ含ム、一日ニ付キ一

圓トシ平均六十名ヲ委託セリ、

(ニ) 其他醫療施設ニ對シテモ縣醫師會ニ對スル委託醫療ニ準シ委託契約ヲナシ救療ヲ行フモノトス

(ホ) 診 療 成 績

實 人 員 二、〇二七人

治 療 延 日 數 一、六八、七二八日

一日平均治療人員 一八八人

(二) 救 急 函

恩賜 濟生會ヨリ愛知縣總聯合衛生會ニ委託シ實施セルモノニシテ配置場所ハ區長宅、小學校、巡查駐在所、方面委員宅等

トシ管理者ヲ定メ保管セシム。

縣下五十二ヶ町村二百ヶ所ニ配置シ其ノ需用頗ル好評ヲ博シ益々増設ノ要望アリ

一ヶ所一箇ノ創設費約十二圓トス

利用成績

實 人 員 五四、一〇三人
利用延 人員 八七、三五一人

特記スベキ事項

本縣救療事業ノ實跡ヲ見ルニ鴻大無邊ナル聖恩ハ恰ク縣下疾病ニ泣ク困窮者ヲ潤シ感謝報恩ノ聲四面ニ漲ルノ觀アリ、コレ偏ニ皇恩ノ無窮ニシテ其ノ仁慈盡クルトコロヲ知ラザル大御心ニ外ナラズ實ニ感泣ノ至リニ堪エザル次第ナリ
縣直營ノ巡回診療班ハ縣下醫療ニ不便ナル僻陬地域ヲ馳驅シ貧ニ泣ク細民ニ對シ温情ヲ以テ救療ニ當リ其ノ結果貧困者階級最大ノ負擔ヲ輕減シ或ハ早期疾病發見治療ニヨリ全ク一家生活ノ悲慘ナル轉落ヲ未然ニ防止シ又比較的衛生思想ノ無知ニ誘因セラル罹病率ヲ減少セシムル等衛生思想普及ノ見地ヨリ之ヲ見ルモ其ノ效果甚大ナルモノアリ
巡回診療實施町村當局ニ於テモ患者ノ利用ヲ便ナラシムル爲簡易ナル診療所設備ヲ整ヘ其ノ診療ニ萬全ノ方法ヲ講ジ患者ニ於テモ毎週一回ノ診療ニハ數里ノ地ヨリ辨當ヲ持參シ來診スル狀況ニシテ無限ノ感謝ヲ絶大ナル信頼ヲ表シ命ハアリ日ニ計チ一財附 濟生會委託醫療ニ於テハ年々其業績ヲ高メ救療ヲ乞フ者益々其ノ數ヲ増シ方面委員ノ活動宜敷キヲ得專經費豫算ノ不足ヲ見ルガ如キ狀況ニアリ巡回診療ト相俟ツテ本縣救療事業ノ根幹ヲナスモノナリ

美 談

1 西加茂郡石野村〇〇〇〇ハ産後ノ容態アルク日ヲ追ヒ悪化スル病狀ニ家族一同愁ヒノ眉ヲヒツクテ百方奔走シテ醫療ノ資ヲ求メシモ赤貧ニテ家計思フニ委ゼズ、親族近隣ノ人々モ同情ヲ寄スルヲモニテ經濟的援助ヲ爲ス能ハズ爰ニ相集ヘテツノ療養ノ資ニ就キ鳩首相談セシモ如何トモ爲ス能ハズ遂ニ意ヲ決シテ擔當區域方面委員〇木〇次〇氏ニ相談シ、其ノ力ヲ借りテ財附 濟生會治療券ノ交付ヲ受ケ、岡崎市立病院ニ入院ヲセシトコロ、院長始メ係員ノ同情アル治療ト方面委員ノ献身的援助

ニヨリ、入院後大手術ヲ受ケ其後ノ經過モ全ク奇蹟的快方ニ向ヒ、始メ病床ニ臥スル時肉親近隣ノ人々ヲシテ「死」ヲ想ハシメシ難病モ遂ニ薄雲ノ去リテ明月ノ出ツルガ如ク全快シ本人ハ勿論親兄弟モ欣喜雀躍シテ今更皇恩ヲ大ナルヲ謝シハ併セテ方面委員ノ德ヲ感佩シ全快後ハ孜々トシテ「助けテ戴イタゴ禮」ニトシテ全ク献身的ニ働キ盡シ山林ニ薪ヲ拾ヒ晩ハ陋屋ニ草履細ヲ編ミ、其レヲ市ニ賣リテ零細ナル貯金ヲ爲シテ村民ノ不幸ニ泣ク人ヲ爲スニ利用下サル様ニ計方面事業助成會ニ寄捨シタリ、此ノ行ヒハ近隣全村ノ人ヲ感激セシメ近來ニ稀ラシキ人トシテ賞讃サレツ、アリ、財附 濟生會ノ一枚ノ治療券ハ斯クシテ一ツノ女性ノ魂ヲ闇黒ヨリ光明ニ導キ一般社會ニ好影響ヲ及セリ其ノ時時々々其ノ喜劇出舞ヲ見ル其ノ御藥は一粒でも粗末にはせぬ様家内に申聞かせ居候先は右御禮申述度斯如くに御座候

(利用者ノ感想)

額田郡河合村古部 北設楽郡稻取村野入
拜啓陳者御會より救急函御配置の恩典に浴し申候事は當部落に一大光明を興へ此の爲一同歡喜と感謝に目を送り候就而私方も目薬「かぜねつとり」胃薬等の御薬を戴き其の効果の偉大には驚き申候御蔭にて病氣も重態にならず斯の如き御薬は一粒でも粗末にはせぬ様家内に申聞かせ居候先は右御禮申述度斯如くに御座候

今回F式凍傷御送付下され實に拙地としては願ふ叶ふの重寶薬にて従來凍傷患者には方々々々等望り居たるも少々重症になりたるものには其の效緩漫なりしにより今少し何等かの良薬はと思ひ居りし所へお送り下され實に有難く地方同患者の救はる事夥かるべく御深慮に感謝し右副申候也

額田郡河合村古部 村若部 遺棄地元

一寸と巾上げますほんとに何と御禮申してよいかと思な私には困て居ります、でも考へて見れば有りがたいけれども手紙を書く事は下手で皆様に笑はれようと思ひ乍らあまりの喜しさに勇氣を出して御禮の手紙を書いた事になりました、どうぞ笑はれたい田舎の婆の心の中を御察し下さい私の村は山坂多き草深き山村でございますので御醫者様も遠くへ出かねば無く、病人でも出来たらどうしようかと當惑して主婦の私は非常に心配しました御醫者様をよんで見てもらひますれば澤山の金が掛りまござとしてゐる間に病氣は重るし、どうしようかと途方に暮れる事がたびたびありましたが今度私の村に救急函とやらを御上様のめぐみであつて下さることになつたので其の心配もなくなりました

十一月の末氣候がにわかに変更したので風をひきました時早速配置所より風薬をいただいて服みかけた所すつかり全快しました、いつもなら十日も十五日もせきが出たり頭痛がしたりしましたが今度と言ふ今度はほんとに早くなほめされた前は賣藥など用ひて居て重くなつたのです。救急函の私の村に置いて下さる有難さをしみじみと感ぜられます、ここに深く深く御禮申し上げます。

北設樂郡 稻橋村 野入

今回我が野入區へ救急函を御配置下さいまして私共細民は幸福と存じます、此の御藥は他にありふれた藥に比較して其の效力の偉大なる事で今年には御蔭様で力強く働く事の出来ました事は偏に長くも御禮申上げます、和歌山縣 西合 林妻 女

陛下の御仁慈の優渥なこと一同感泣してゐます。當地は土地は高く寒く道は悪く至極不便であります醫者には遠くへ出かけて分難儀を致しましたが昨年来救はれたことは夥しくあります恐れ入ります細民には厚く御禮申上げます、和歌山縣 西合 林妻 女

拜啓當區に急救函を配置下さいまして以來地方民は其の絶大なる恩恵に感謝し非常に喜び居ります。何分にも昭和の今日荷車一臺通る道もなき山村の大部分は草根、木皮の原始的療法に甘じてゐたのですから全部の藥が驚く程よく効果があります富山の賣藥が只一年に一度巡回して來るのみですが其の藥袋を全部服用し盡しても治らぬ風邪が只二回分の下熱劑で全快したと言ふ様な實例はいくらでもあります、くどくどしい事は略しますが兎角地方人は非常に喜んで何より第一のたよとして急救函を殆んど信仰に近い位迄に重んじてゐます茲に謹而一般人にかはり厚く御禮申上げます

配 置 所

當地の如き山間避地は醫師の便非常に悪く醫師のもとに飛び行く時分には貴き人命を捨てるもの尠からず亦貧村の事にて藥代を拂ふ事すら出来ないもの尠からず、かゝる土地故急救函の設置は輕症患者は醫師のもとに行く煩を省き貧者は高價な藥代を支拂ふの憂を無からしめこれにて貴き人命を救ふ者又尠からず

殊に當地の如く山林野の仕事又石材採出等の業に従事する多數の人は外傷其の他一時の處置も出来非常な喜び居る様な次第にて御座居ります

靜岡縣

實 施 ノ 概 況

本醫療救護施設九年度成績ハ、三一八人ヲ救療シ其ノ延日數二四五、五八〇日トシ又其ノ救療費於テモ配當額不足ヲ告グ

尙本縣ニ於テハ救療ノ大部分ハ、恩賜濟生會靜岡縣ヲ通ジテ施行シ居リ細民救濟ノ御聖旨ニ副ヒ奉ルベク趣旨ノ普及救療ノ徹底ニ盡力セリ

特ニ醫師ナキ町村並ニ山間僻陬地區ニ於ケル醫療救護ニ當ツテハ縣施設ノ出張診療所ト相俟ツテ救療ノ完備ニ邁進セル爲地元

ノ民ハ其居ニ安シ生業ニ就キ之ガ施設ニ感謝シ居レリ...

山梨縣

一、救療ノ範圍

市町村稅特別稅戶數割一戸當平均四分ノ一以下ノ者及其ノ家族同居人又公右ト同程度ノ者ト市町村長...

二、救療施設

(一) 委託診療

地方ノ實狀ヲ知悉シアル市町村長並方面委員ヲシテ治療券ヲ交付セシメ縣内ニ一般醫師ハ藥劑師ヲ治療救療...

(二) 出張診療

醫師ノ所在地ヨリ一里以上ヲ隔タリタル僻村二十ヶ所ヲ選ビ開設セリ...

三、救療患者

一、實人員 五、三二〇人

內 譯

イ、委託診療 實人員 四、五三五

ロ、出張診療 實人員 四三七

治療延日數

六六、八一四

治療延日數

五六、〇八四

ハ、巡回診療 實人員 三四八

四、豫算總額

四萬五千壹百七圓

滋賀縣

實施ノ概況

村民ノ衛生狀況ヲ通觀スルニ事業實施後一般ニ日ヲ逐フテ良好ナルヲ認ム特ニ著明ナルハ關係村ノ内比較的交通ノ便ナル村ニ...

實施ノ概況

昭和九年度臨時醫療費トシテ御下賜金七千四百圓及國費金九千五百拾八圓計金壹萬六千六百拾貳圓ヲ...

其他特記スベキ事項

救療者ノ凡テハ聖恩ノ優渥ナルニ感泣セザルナク殊ニ救療ノ普及徹底ニ依リ薄倖者ヲシテ早期診療ヲ受ケシムルヲ得從テ重症患者ノ數減少シツ、アルハ等シク感謝措カザル處ニシテ本事業ノ繼續ヲ熱望セリ

岐阜縣

實施ノ概況

昭和九年度ニ於ケル恩賜醫療事業ハ前年度ノ施設計畫ヲ踏襲シ實施セリ

即チ委託、出張及巡回ノ三診療方法ニ依リ、委託診療ハ縣社會課ニ於テ、出張診療ハ前年度設置セル出張診療所ヲ其儘繼續シ囑託醫師ヲシテ年百九十圓乃至四百圓ノ助成金ヲ交付シ土地ノ事情ニヨリ月四回乃至十五回出張診療ノ義務ヲ負ハシメ又巡回診療ニ於テハ夫々計畫ニ基キ縣職員タル醫師及日本赤十字社岐阜支部ヲシテ夫々施行セシメタルモノナルモ尙廣汎ナル山村ニシテ其ノ中心部落ヨリ三里乃至五里ヲ距ル僻遠地ニアル散在の部落ニ居住スルモノニシテ巡回診療、委託診療ノ無料診療券ヲ使用シ得ザル地方ノ貧困者ニ對シテハ家庭救急箱ヲ無料配布スル等之レガ普遍的救療ニ努力シ居ルモノニシテ部民ノ歡喜ニ方ナラズ豫期以上ノ成績ヲ擧ゲタリ

長野縣

實施ノ概況

一、前年度及前々年度實施ノ成績ニ鑑ミ更ニ施行方法ノ改善ヲ爲シタルガ、中主ナル事項左ノ如シ

1、巡回診療班及施行箇所ノ變更

特別施設タル巡回診療事業ハ醫師ナキ僻村ニ對スル救療ノ徹底ヲ期スル點ニ於テ幾多ノ長所ヲ有スレ共、一面人件費其他比較的高額ナル代價ヲ要スル憾アリ、之ガ爲限ラレタル經費ヲ以テシテハ動モスレバ施設惠澤ノ均霑ヲ缺クニ至ルヲ以テ之ガ施行ニ就テハ更ニ仔細ニ再檢討ヲ加ヘ出張診療ニ變更可能ナルモノハ可及的出張診療ニ移シコレガ整理整頓ニ努メタ

リ、即前年度巡回診療施行箇所二ヶ村中七ヶ村ヲ出張診療ニ移シ同時ニ診療班二ヶ班ヲ廢シ、三班ヲ以テ之ガ救療ニ當ラシムルコトト爲シタリ

2、出張診療所ノ増設

前年度施行箇所ハ其儘之ヲ繼續シ巡回診療ヨリ移シタル七ヶ村ヲ加ヘ總數五十二ヶ町村ニ施行シタリ

二、診療回数及救療資格

出張診療ノ診療回数ハ一村一週一回(一回ハ二日)ニシテ從前通、巡回診療ノ診療回数ハ一村月四回(一回ハ二日)ニシテ是又前年度通ナルモ、巡回診療班ノ整理ノ結果、一班ノ擔當區域ハ廣地域トナリ從テ旅程延長セル爲規定回数ノ巡回ハ愈々困難ヲ加ヘタルモ巡回職員ノ多大ナル努力ニヨリ之ガ回数保持ニ努メタリ

三、濟生會委託救療

本縣ニ於ケル一般經濟狀況ハコノ年度ニ至リテモ未ダ好轉ヲ見ルヲ得ザリシノミナラズ益窮迫ニ陥ルノ傾向アリ之ガ爲窮民ハ愈々増加スルヲ以テ可及的本救療費ノ増額ヲ圖リ即前掲巡回診療班ノ整理ニ依リ得タル經費ハ勿論救療上支障ナキ限リ一般的ニ費用ノ節約ヲ爲シ以テ之ヲ本救療費ニ充當シ尙年度末期ニ於ケル國費ノ追加配當ヲ得タル分ノ如キモ全額ヲ本救療費ニ充テ救療上萬全ヲ期シタリ

其ノ他特筆スベキ事項

本事業ニ對スル一般ノ感謝狀況ハ、前兩年度ニ於テ詳細報告セル處ニシテ本年度ニ於テモ同様事例多數有之別ジテ本事業ガ本年度末ヲ以テ一先結了ト相成ニ付テハ何等カノ形ニ於テ明年度以降繼續セラレタシトノ陳情、請願ハ各方面ヨリ翕然トシテ起リ眞ニ救療事業ノ緊要不可缺ナル所以ヲ如實ニ反映セリ

宮城縣

本年度ニ於テモ前年同様ノ計畫ヲ以テ出張診療、巡回診療等ヲ繼續スルモ御下賜金並國庫交付金共減配ニ付多少ノ變改ヲ爲シタリ即チ出張診療所ハ前年度ニ於テハ早害ノ爲メ特ニ増額配當モアリタル關係上三十八ヶ村ニ増加シテ實施セルモ本年度ハ之ヲ三十五ヶ村ニ減少シタリ又巡回診療所ハ前年度末ニ於テハ十三ヶ村十六ヶ村ノ處前記出張診療所ノ變更ニ依リ三ヶ村ヲ増加シ十五ヶ町村十八ヶ所ニ對シ實施中冷害ニ因ル稀有ノ凶作ニ遭ヒ之ガ爲メ救療費ノ追増ヲ受ケタルヲ以テ前計畫ヲ變改シ十二月ヨリ三月迄四ヶ月間更ニ出張診療所六ヶ村巡回診療所四ヶ所及診療班一班ヲ増設シ救療對策上遺憾ナキ様實施ヲ爲シタリ

一、縣下二市二〇〇ヶ町村中昭和九年度ニ於テ濟生會ヲ通ジテ外來患者ニ對シテ診療ヲ行フベキ町村ハ二市一五九ヶ町村ニシテテ内實施シタルハ二市一四三ヶ町村ナリ(四一ヶ村ハ縣立診療院、又出張診療所設置シタル關係上外來患者ニ對シテ出張診療ヲ行ハズ)

但シ入院患者ニ對スル診療ハ全縣下ニ施行シ居ルモ事實施行シタルハ一二七ヶ町村ナリ

二、別表ニ揭示セル如ク外來實人員一、八九九名入院實人員四〇一名ニシテ之ヲ月別ニ見ルト年度初ノ四月ニハ外來實人員一七四名入院ニ於テハ三八名ニシテ漸次減少シタルモ九月ヨリハ増加ヲ示セリ、患者ノ大部分ハ重症或ハ慢性ノ患者ナルタメ繼續治療ヲ要スル者激増シタリ著シキハ一ヶ年治療ヲ受ケ尙轉歸ニ至ラザル者相當數ニ上ルタリ、救療費ノ負擔ハ縣民ニ歸スルニシテ延人員ニ於テ之ヲ見ルトキ實ニ外來ニ於テハ八三、八二〇名入院ハ一九、〇四五名往診ヲ受ケタル延人員ハ二、四九九名ノ多數患者ヲ診療セリ斯クシテ本救療事業ハ汎ク普及徹底シ其ノ實績極メテ顯著ナリキ

三、前記ノ如ク救療範圍ハ殆ンド全縣下ニ亘リ受診者ト否トヲ問ハズ縣民均シク聖恩ノ無窮宏大ナルニ益々感激シ居ル状態ナリ殊ニ凶作ニ依リ全ク醫療費ニ困リ居ル窮民ハ始メテ醫療ノ惠澤ニ浴シ感謝ノ念ハ其ノ言、其ノ行ニ表ハレ國民生活ニ一大曙光ヲ與ヘシモノ甚大ナリ

福島縣

實施ノ概要

本縣ニ於テハ昭和九年度四萬六千〇五拾四圓ノ御下賜金及國費六萬參千四百七拾貳圓合計拾萬九千五百貳拾六圓ヲ醫療救療費トシテ配當アリタルヲ以テ前年度ノ救療成績ト縣下ノ實情トニ鑑ミ、ヨリ有意義ナル成績ヲ收メ以テ聖恩ニ應ヘ奉ラムコトヲ期シ、一層周到ナル施設計畫ヲ樹立シ前掲救療費ノ内參萬七千六百拾圓ヲ巡回診療費ニ當テ醫師、看護婦、書記各三名以一班トスル巡回診療班四ヲ繼續組織各ニ専用ノ自動車ヲ使用シ、開業醫師ナキ交通不便ナル農山村六〇箇村ヲ選定主五日乃至二十日ニ一回ノ豫定ヲ以テ救療ヲ實施シタリ、然レドモ會津地方ハ冬季積雪丈餘ニ達シ交通殆ンド杜絶シ自動車ノ使用全ク出來ズ爲メニ診療班員ハ止ムナク徒歩ニテ巡回スルノ關係上一ヶ村ノ診療ニシテ數日ヲ要スルノ實情ニテ、豫定ノ診療不可能ナルヲ以テ之レ等雪害地タル大沼、耶麻、南會津ノ三郡ノ内特ニ二十二個村ニ對シ便宜當該郡醫師會員ニ出張診療方ヲ委託救療ヲ實施シタル結果、縣直接施行シタル巡回診療及委託出張診療ニ依リ取扱患者實人員一四、五七三人治療延日數九五、三一九日ニ達シタリ更ニ前掲救療費ノ内七萬貳千參百六拾六圓也ハ尙一層救療事業ヲ擴充シ之ガ徹底ヲ期セムガ爲メニ

財團濟生會ヲ通ジ縣醫師會ト契約ノ下ニ各郡市ノ開業醫師ニ一般委託診療ヲ、開業醫師ナキ農山漁村五〇箇村ニ對シ委託出張診療セシメタルト

コロ救療實人員二七、九五五人治療延日數三三五、七二二日ニ達セリ、尙此外縣醫師會ニ對シ齒科醫師ノ委託診療並ニ藥劑師ガ醫師ノ處方箋ニ依ル調劑及産婆ノ助産等一切ヲ引受ケシメタルニ、齒科醫師ノ取扱實人員七三人治療延日數三二〇日藥劑師ノ調劑七人助産取扱二三人ノ實績ヲ收メタリ、一方醫療ノ途ヲ有セザル結核患者ヲ

財團濟生會ノ救療事業トシテ縣立回春園ニ入園救療セシメタリ之ガ取扱患者實人員六三人治療延日數五、八五七日ナリ

以上巡回診療、委託診療、出張診療、回春園救療患者ヲ總括スルニ取扱患者總實人員四二、五九〇人治療延日數四三六、八八八日ヲ算シ、其ノ他冷害凶作地一四六ヶ村ニ於ケル妊産婦乳兒ノ保護救濟ヲナセルニ助産取扱三九八人榮養補給實人員五三人延日數一、二九二日ニ及ビ、更ニ醫藥ノ給付五方一一一、九二二包分ヲ配付シ普ク救療ノ實績ヲ擧ゲタルヲ以テ困窮セル罹病者ハ申スニ及ズ一般縣民ハ唯々聖恩ノ鴻大無邊ナルニ感泣恐懼シアリ

本縣ニ於テハ昭和七年九月以降恩賜醫療救護ノ御趣旨ヲ全面的ニ普及徹底ニ努メ、本醫療救護事業ニ過誤ナキヲ期スルト共ニ昭和七年度下半年期ニ於テハ本事業ノ基礎的準備ニ萬全ヲ期シ、更ニ前年度ノ救護実績ニ鑑ミ、一府周到ナル計畫ヲ下シ實施シタリ、昭和九年度ニ於ケル成績左ノ如シ

租別	患者取扱實人員	治療延日數
巡回診療	一四、五七二	九五、三二九
委託診療	二一、〇二二	二九一、二三三
委託出張診療	六、九四三	四四、四七九
結核患者救護	六三	一五、八五七
計	四二、五九〇	四三六、八八八

實人員ヲ百五拾萬縣民ニ對比スルトキハ三〇%弱ニ相當スル救護ノ實ヲ擧ゲタルハ恩賜救護ノ趣旨相當普及徹底シタルモ以テト價ズ

現下ノ時局ニ於テ本救護事業ガ縣民ニ與ヘタル影響ハ、管ニ農山漁村ノ困窮セル罹病者ヲ救護シタルノ點ニ止ラズ、地方民ノ精神上ニ及ボシタル效果タルヤ到底筆紙ニ盡シ難キトモ、トナリテ、救護事業ノ發展ニ資シ、自他並ニ出來ヌ本縣ハ區域廣汎農山村多ク從テ開業醫師ナキ村二一五ヲ算スルノ實況ニ在リ、交通不便ナル僻遠ノ地ニ在リテハ山ヲ越ヘ谷ヲ涉リ或ハ積雪丈餘ノ山道ヲ辿リテ行ハル、巡回診療、出張診療ニ於テ醫藥ニ乏シザル農山村以罹病者ハ此等有難キ恩賜醫藥ヲ手ニシ熱涙ニ咽ビツ、アルノ狀況ナリ之ガ一例ヲ左ニ摘記セン

一、感謝狀(原文ノ儘)

本縣巡回診療第三班長外島醫師殿外班員一同ハ患者ニ對シ常ニ親切丁寧ニシテ地方民一般ノ信賴スル處ナリ、然モ去ル七月二

十七日中川村診療所(砂子原)ヨリ本村ノ最南端中川村大字琵琶首鈴〇松〇郎長女サ〇(三十二歳)重病ノ爲往診方願出ニ依リ外島醫師ニハ早速御快諾然モ參里餘ノ峻阪ニシテ自動車ノ通セザル道路ヲ自轉車ヲ以テ同所ニ駆付ケ殆ンド絶望ニ近キ同患者ヲ施療セラレ日没後歸宿セラレタリ、其後同所ニ往診セラレ、コト巡回ノ度毎前後四回ニ涉リ懇切ナル御施療ヲ被成下候結果少シモ重患ニシテ一時ハ危険ノ状態ニ隔リタル同患者ヲシテ今日殆ンド全治セルモ同様ニ治癒セラレタルニ偏シ診察班員各位ノ熱誠ナル御施療ノ賜ト兩親ノ喜ビハ勿論深ク感謝奉候ソレノミナラズ中川村大字砂子原戸主〇田〇治(當四六年)去ル八月二十日中氣ノ爲突然發病半身不隨トナリタルヲ御施療下サレ其後之又巡回ノ度毎ニ往診セラレ、コト前後四五回今ヤ身體自山ニ歩行シ得ラル、様ニ相成一家ノ柱石タル同家ノ喜ビ又タトウルニモノナク暗黒ノ一家ニ光明ヲ放テタル感有之、唯ニ其家族ノ喜ビノミナラズ當村理事者トシテ誠ニ奉深謝候其他一里以内ノ往診施療ヲ頂キ全治セル患者ハ拾數名ニ及ビ何レモ感激致居リ候依ツテ茲ニ本村民ヲ代表シテ謹テ奉感謝候 謹言

昭和九年十月十日

中川村 組長 鈴木 金 子 卯 吉

福島縣警察部長殿

岩手縣

實施ノ概況

(イ) 出張救護

出張診療ヲ特ニ必要ト認ムル管下二十六ヶ村ニ對シテハ月二回乃至三回宛郡市醫師會ニ委嘱シ當該醫師會ニ於テ最寄ノ會員ヲシテ出張診療セシメタリ而シテ之ガ實施上看護婦ノ隨伴派遣ヲ必要ト認ムルモ面積廣大交通不便ナル爲ノ失費多ク配當豫算ノ範圍内ニ於テ實施シ得ザルヲ遺憾トス。

(ロ) 委託救療

郡市醫師會員、縣藥劑師會員、縣齒科醫師會員及産婆ニ委託シ救療ヲ實施セリ。
(ハ) 巡回診療
縣救療醫、産婆ヲ以テ組織セル救療班ヲ醫師ナキ交通不便ナル三ヶ村ニ派遣シ二日乃至三日間宛巡回診療セシメタリ。
青森縣

實施ノ概況

本縣救護ハ疑ニ報告セシ實施計畫ノ通り 財團濟生會ヲ通ジテ實施セリ而シテ救療ノ種別ハ委託診療、出張診療、巡回診療ノ三種トス。

委託診療ハ豫メ決定シタル要救療者名簿ニ登載シタルモノニ限り救療券ヲ發給シ縣下開業醫並公私立病院ニ協定藥治料金ヲ以テ診療ヲ委託セリ救療券ノ交付數左表ノ如シ。

入院券	手術券	往診券	外来券	計
二、六六四	七〇二	一、三九五	六、九二七	一一、六八八

備考 一、本券一枚ノ治療有効期間ハ十日間トス

二、手術券ハ手術料三圓以上ノモノニ交付ス

出張診療ハ醫師ノ居住ナキ村ニ對シ最寄町村ノ開業醫ヲシテ一ヶ村一ヶ月三回(十日間毎ニ)出張シ要救療者ニ救療券ヲ發給シ診療ヲ爲サシメタリ、此ノ救療券ノ交付數ハ五、一二四枚ニシテ診療所開設村數十ヶ村トス、殊ニ降雪及融雪季ニ交通機關ノ不便ナル場合ハ診療當事者ヲシテ督勵シ本救療ノ主旨ニ完璧ヲ期スルニ努メリ。以テ巡回ニ課付テ救療ニ盡メテ巡回診療ハ縣下ニ於テ醫師ノ居住ナク交通不便ノ僻陬ナル十七ヶ部落ヲ選定シ二ヶ月二回(三日間)醫師、看護婦事務員ノ各

一名ヲ以テ組織シ之ニ從事セリ但シ冬季間ニアリテ交通機關杜絶シ最モ僻陬ノ五ヶ部落ニ對シテ六二ヶ月二回(二日間宛)施行シ又診療従事員ハ「スキー」ヲ利用スル等本救療ニ遺憾無キニ努メリ。

其ノ他特記スベキ事項

本縣救護實施ニ於テ縣下一般ニ聖旨ノ恩澤ハ普及徹底セラレ其ノ感激ノ真情トシテ實例ノ一端ハ左ノ通函ヲ以テ示ス

八戸警察署長ノ報告

三戸郡田部村

農事課長 ○ 藤 ○ (當四十九年)

右者數年來眼疾病ニ罹リ視力減退シ日常ノ仕事ニモ容易ナラザルモ貧困ノ爲醫藥ヲ受クルノ途ナク放置セシ爲病況漸次増悪シ剩ニ家族六人ニシテ働キ手ナク全ク悲惨ナル生活苦境ニアリ駐在巡查ノ報告ニ依リ恩賜救療券ヲ交付シ診療ヲ受ケシ處治療三十餘日ニシテ快癒ニ趣キ現在殆ンド全快シ仕事ニ支障ナク盲目トナルヲ免レ所本人公窮民ニテ役場ヨリ生活救助ヲ受ケ居ルモ本年ヨリハ聖恩ニ依リ盲目ヲ免レ働キ得ル健康者トナリタル以上ハ役場ノ救助ヲ受クルハ人ノ道ニアラズ依テ生活救助ヲ拒ミ健グニモ家事ニ精勵シ社會公共的の仕事アル場合ハ進デ之ニ當リ聖恩ニ報ヒ應ヘント聖代ノ難有サニ感泣シテ

七戸警察署長報告

上北郡七戸町

倉 ○ (當三十四歲)

右ハ日雇業○倉○ノ婦ニシテ永キ間ノ病身ニシテ夫亦病弱ニテ勞働思フ儘ニ出來ズ、貧困ナル爲メ醫師ノ治療ヲ受クル資力ナク殆ンド絶望シアリ、殊ニ婦ノ生家ハ貧困ノ上ニ繼母ノ爲メ實家ニ歸リテモ温キ家庭ナラザル以テミナラズ治療ヲ勿論出來ズ

ル爲メニ身モ心モ共ニ悲觀シ居リシニ偶々本恩賜救療施設ノアルヲ聞キ役場ニ來リテ願出タルヲ以テ早速救療券ヲ交付シ恩惠ニ浴セシメタルニ幸ニシテ治療經過良好ニシテ治療四十餘日ニテ全治スルヲ得タリ。貧困ニシテ貧困ノ苦痛ヲ受ケテハ貧困ノ本人ハ勿論家族及近隣ノ人々ハ此ノ有様ヲ聞キ聖恩ノ鴻大ナルヲ今更ナガラ感激セリ、家族一同感泣シ日々皇居ニ向ヒ禮拜シタル後佛壇ニ禮拜シテ家業ニ従事シアリ。

上北郡七戸郡町

○ 村 ○ 一 ○ ○

右ハ身體病弱ナルモ貧困ノ爲メ醫師ノ治療ヲ受クル資力ナク爲メニ自藥ヲ以テ長久間療養シタルモ快復セズ日増衰弱加シテ起床困難トナレリ且本人ハ一家ノ働キノ中心者ナルガ爲メ家計愈々窮迫トナリ本施設ニ恩惠ニ浴シタキテ申出タルヲ依リ早速治療セシメタルニ徐々ニ快復シ約四十日間ノ治療ニ依リ健康體トナリ漸々安心ノ域ニ達スル冬メ家庭ノ悦喜ハ勿論親戚近隣亦本施設ノ恩遇ニ感泣シアル次第ナリ。

十和田村長報告

上北郡十和田村

○ 三員 田中 ○ 次 ○ ○

(當二十六歳)

右ハ十八歳ノ頃顔面骨ノ骨膜炎(カリエス?)ニ罹リ貧困ノ中ヨリ借財等ニ依リ昭和七年頃自費ニテ縣立病院ニ入院治療セシモ治療費缺乏シテ全治セズ中途ニテ退院自宅静養シアリタルモ其ノ後病勢進ミ顔面ニ穴等生ジ爲メニ勞働ハ勿論不可能ニテ外出ツヘ出來ザル狀況ノ處昨年御下賜金ニ依ル救療券ニヨリ再ビ縣立病院ニ入院ノ恩典ニ浴シ手術シ永々ノ治療ニテ病氣根治ノ上歸宅シ目下家業ニ精勵シアリ、本人モ生涯ノ不具ト思ヒ居リタル所聖恩ニヨリ今ハ多年ノ疾患ヲ取除キ全明カニ生業ニ精



勵シアリテ父母ハ勿論家族一同聖恩ニ對シ感激シ報恩ノ途ヲ教ヘラレ度旨役場ニ申出タリ。貧困ニシテ貧困ノ苦痛ヲ受ケテハ貧困ノ本人ハ勿論家族及近隣ノ人々ハ此ノ有様ヲ聞キ聖恩ノ鴻大ナルヲ今更ナガラ感激セリ、家族一同感泣シ日々皇居ニ向ヒ禮拜シタル後佛壇ニ禮拜シテ家業ニ従事シアリ。

右ハ日雇ノ極貧者ニシテ三年前ヨリ疾病(心臟性喘息)ノ爲メ就床妻ノ豆腐製造販賣ニヨリ僅カニ糊口シアリタリ。本年一月始メニ至リ病増進シタルモ到底治療ノ資ナク困窮シアリタル所偶々聖恩ニヨル救療券アルヲ知り之レガ交付ヲ得テ當村々醫鈴木醫師ニ往診ヲ乞ヒタルニ鈴木氏又早速其ノ窮狀ニ同情セラレテ二里餘ノ途ヲ數回往診シ殊ニ夜間等ニモ吹雪ヲ犯シテ往診治療セラレ患者モ三年來始メテ醫師ニ診療ヲ求メテ大イニ安堵シ家人又聖恩ノ有難キニ感泣スルト共ニ鈴木醫師ノ厚意ニ感謝シアリタルモ長期ノ疾病ノ爲メ遂ニ恢復ヲ見ズ死ノ轉歸ヲ取リタルモ數回ノ醫師ノ手當ヲ得タルコトハ聖恩ニ依ラザレバトテ安ンジテ瞑目セラレタリ。

大野村長報告

本救療施設ニヨリ醫療ヲ受クルモノ二十數人アリ殆ンドハ全快シ其ノ家族ハ其ノ喜ビテ報告ニ際シ椅子ニ寄リテ板ノ間ニ下座シ涙ヲ流シテ聖恩ノ洪大ニ感泣シ再ビ斯ル救助ヲ受ケザル覺悟ニテ奮發致スベク誓ヒ居ル有様ナリ中ニ毛細部落ノ木○き○女ハ夫ハ盲目ニテ仕事スルコト能ハズ幼キ長男ヲ相手ニ農業ヲ營ミ漸ク其ノ日ノ糊口ヲ凌ぎ居ルニ本人亦眼ヲ患ヒ殆ンド失明スルガ如キ有様ナリシガ本救療ニ依リ手術ヲ受ケ治療ヲ繼續セル處今ハ大體快復ニ向ヒ細仕事ヲ出來得ル程度ニ至リタリ。長男ト共ニ報告旁々御禮ニ來場セラレ聖恩ノ無窮ニ感激シテ子々孫々ハ勿論一般村民ニモ是レヲ傳ス可ク感泣又流シテ長男ハ總テ青年團ニ入會スルトキハ聖恩ニ報ヒ奉ラムコトヲ誓ヒ歸宅セリ。

新城村長報告

東津輕郡新城村

三郎妻

○一内 ○

右ハ昭和九年一月出産後俗ニ産脚氣ノ爲メ病床ニ臥スル身トナリ家ニアリテ種々療養シ居リタルモ仲々快方ニ趣ク様子モ見エズ且ツ心臓モ衰弱シ日増ニ病勢悪化シ殊ニ産後ノ事ナル爲メ身體衰弱シ八月頃ヨリ全ク重體ニ陥リ起居ニ勿論生命モ容易ナラザル状態トナリ一家ノモノハ醫師ノ治療ヲ受ケシメタキハ勿論ナルモ如何ニモシテ同家ハ戸主○市當六十二歳夫○三○當三十六歳ノ外子供四名ノ七名暮シニシテ一家ノ生計サイモ容易ナラザル場合此重病入ヲ如何ニシタルモカト思案中又三女キ○當十四年ガ自動車ノ爲メ不慮ノ災難ヲ蒙リ重傷ヲ負ヒ入院スル有様全ク一家ハ悲嘆ニ暮シ時々御下賜金ニ依ル救療施設ヲテ成トヲ聞キ村役場ニ至リ之ガ救濟方ヲ願出タルヲ以テ、直チニ縣立青森病院ニ入院治療シタル處漸次快方ニ向ヒ四十日餘ニシテ退院スル身トナリ其後勞働ハ爲シ得ザルモ日常家事ニハ何等差支ナク病者ハ勿論家人一同曙光ノ喜ビハ實ニ此ノ上モナク聖代ノ御世ニ深ク感激シ毎日皇居ヲ伏拜ミ神前ニ禮拜シ聖恩ノ有難サニ感泣シ居ル状況ナリ。

弘前警察署長報告

昭和九年十一月二十一日デフテリアニ罹リ其ノ症状重態ニ陥リシモ醫療ヲ受クルニ費ナキ爲目前ニ危態ノ迫ルヲ認メナガラ放置シアルヲ駐在巡查ノ報告ニ依リ救療券ヲ交付シ醫療ヲ受ケシメ其ノ結果一命ヲ取り止メ全治ヲ見タリ○吉夫婦ハ此ノ聖旨ノ御恩澤ニ對シ痛切ニ感激シ役場ト駐在所ニ來リ土間ニ坐リテ合掌シナガラ感泣シ此ノ報恩ニハ何ナリト役場ト警察ノ仕事ヲ

御下命下サル様懇願シタル事實アリ尙同役場ニ於テ救療券交付ノ場合ハ常ニ聖恩ノ鴻大且御徳ノ深厚ナル所以ヲ懇切ニ教示シタル後皇居ニ向遙拜シテ交付スル等聖旨ノ徹底ヲ期セリ。

高杉村長報告

中津輕郡高杉村

右ハ無資産ニシテ日雇稼ヲ以テ生活シアルニ家族ハ九人勞働スルモノハ僅カ三人ニシテ他ハ皆幼者ニテ家業ヲ手助テテ子ルモノナク一家ノ生計日ニ日ニ困難ヲ極ムルニ不幸ニシテ戸主○吉ハ昨春以來病氣ニ罹リタルニ資力ナク治療ヲ爲ス能ハズハ又同人妻「○○」ハ病者ノ看護ト幼兒ノ養育ノ爲メ外出スル能ハズ一家九人ノ内長男○ニハ他ニ奉公シテ僅カニ得タル賃金ヲ家ニ入ル、モ大早ニ一滴ノ降雨ニ等シク何等ノ効果ナク加フルニ病者ハ日々益々重態ニ陥リ殆シト瀕死ノ症状ヲ呈シタルヲ以テ役場ニ於テハ御下賜金ニ依ル救療券ヲ交付シ村醫師○藤○文氏ノ治療ヲ乞ハシタルニ初メハ○カト○乘セテ通院シタルモ二十日間ニシテ步行シテ通院スルニ至リ四十日ニシテ全治シタルヲ以テ本人ハ勿論一家族歡天喜地拆舞雀躍シテ聖恩ノ優渥ナルニ感激シ村民亦皇恩ノ鴻大無邊ナルニ感泣シ報恩ノ念ヲ大ニ涵養スルニ至レリ○本醫療救護施設ニ依リ報國精神ハ一層向上セラレタルモノアリ。

三戸郡名久井村長報告

巡回診療ニ就テ

本村ハ岩手縣ニ隣接セル山間疲弊僻村ニシテ醫師ノ居住ナク一度醫師ノ來診ヲ求ムルトキハ多額ノ費用ヲ要スル爲急病患者下雖モ診療ハ遅延シ病況ハ増悪スルガ儘ニ放任シアリテ殊ニ乳幼兒ニケ年ノ死亡者中其ノ三分之二以上死體檢案書ニ依ルルニ狀況ナリ偶々施設ノ御下賜金ニ依ル巡回診療ノ御恩澤ニ浴セシモノ多數アリテ村民ヲ悉ク聖恩ニ感激シ舉村更生ニ新ニ努力シ

以テ聖旨ノ御仁慈ニ報ズルノ狀歴然タルモノアリ、又巡回診療ニ當リタル一行ハ聖慮ニ因テ精心誠意診療ニ當リタル爲救療者トノ間ニハ誠ニ謂ヒ得ザル慈撫ト信頼ノ麗シキ狀況アリテ誠ニ本巡回診療ハ聖恩拜謝ノ念ヲ著シテ涵養セシメタリ、尙其一例トシテ多數受救療者中小額ナリト雖税金ノ滞納者多カリシモ救濟工事ニ六十歳乃至七十歳ノ老人進メテ出テ其賃金ヲ滞納税ニ充當セシムル等全ク村ノ更生ヲ現出シ其効果絶大ナルモノアリ。

中澤村長ノ報告

三戸郡中澤村

右ハ日常豆腐製造業販賣人ナルモ不況ノ折柄其ノ收益ハ〇作以下四人ノ家族ヲ糊口スルニ充分ナラズ剩ヘ昭和七年十二月十日悪性ノ肺結核、喉頭結核ヲ煩フニ至リテハ其ノ收入ノ途全ク絶エ今ヤ天ヲ仰ギテ死ヲ待ツ計リ入メテ家族ノ者等路頭ニ迷フノ状態ニ在リタリ、時ニ當村長ハ御下賜金ニ依ル醫療券ヲ交付シ八戸市ノ及川病院ニ入院セシメ爾來療養ニ努メタルノ結果手術後僅々三十日ニ滿タズシテ退院スルノ良結果ヲ得タリ、其後静養ノ結果再發ノ憂等全クナク昔日ニ倍シク其職業ニ精勵スルト共ニ其洪恩ノ今更鴻大ナルニ感激ノ涙ヲ新ニシツ、役場ニ來リテ此ノ聖恩ノ有難ヲ報告シ日夕感謝ノ内ニ暮シ今ヤ少シモ家計ノ豊ナラザルモ家内和氣霽々ノ様ハ一ニ御下賜金ニ依ル醫療ノ賜ト、見ル人ヲシテ皆肝銘セシメ御下賜金ヲ醫療救護ハ村内ニ良ク普及徹底セリ。

山形縣

實施ノ概況

- (一) 巽ニ昭和九年度 財團 濟生會委託救療費トシ御下賜金壹萬九千八百圓並ニ同額ノ國費配當ノ指令ニ接シタルニ依リ縣ニ於テハ直ニ救療部會ノ會合ヲ開キ協議ノ結果事業計劃要綱等ハ大體前年度ノ方針ヲ踏襲スルルニ決定依テ縣醫師會及公立病院

トノ契約並覺書ヲ更新シ尙本年度ニ於テハ從來正式契約ヲ手交セザリシ縣齒科醫師會トモ新ニ契約ヲ締結シ齒科方面ノ要診療者ニ對シテモ廣ク其ノ聖恩ニ浴セシムルコトセリ。

尙事業實施ニ當リテハ警察署長、市町村長ニ對シ詳細ナル通達通牒ヲ發シ諸般ノ指示注意ヲ促ス等事業實施上遺憾ナキヌル事ニ努メタリ。

- (二) 前半期ニ於ケル事業實施ノ經過ヲ見ルニ前二ヶ年ニ比シ救療患者ノ數著シク増加ノ傾向ニアリ隨テ救療費モ自然増加シ配當豫算ニテハ救療ノ徹底容易ナラザル状態ナリ、剩ヘ當地方稀有ノ冷害凶作ニ遭遇シ多數ノ細民ハ益々生活難ヲ訴フルト共ニ疾患ニ罹ルモノモ多キヲ加ヘ保健上憂慮スベキ實情ナリ、茲ニ於テ救療ノ擴充ヲ一層痛感シ屢々救療費ノ増額配當方ヲ申請シタル次第ナリ。

- (三) 臨時議會ノ終幕ト共ニ十二月十三日付ヲ以テ本縣ニ對シ災害關係ニ依ル救療費貳萬六千圓ノ配當指令アリ内壹萬四千貳百圓ヲ以テ委託診療費ニ充當スルコトニ決定シ茲ニ初メテ當局ハ愁眉ヲ開クニ至レリ。

壹萬四千貳百圓ノ増額豫算ニ對シテハ協議ノ結果凶作對策ノ醫療救護ヲ實施スルニシテ縣下四市貳百貳拾四ヶ町村中冷害ニヨリ五割以上ノ減收ヲ見タル八拾一ヶ町村ヲ選定特ニ診療券參千枚ヲ増刷ノ上指定配布ヲ爲シタリ同時ニ約壹千五百圓ノ豫算ヲ以テ縣下凶作町村ニ對シ急救常備藥(五種類一種五十人分ヲ一組トス)參百五拾ヶ所(警察署警部補巡查部長派出所、巡查駐在所)ニ配給シ細民階級ニ於ケル輕症傷病者ノ救濟ヲ實施スル等救療ノ徹底ヲ期シタリ。

- (四) 豫算經理ニ當リテハ細心ノ注意ヲ拂ヒ當初配當豫算參萬七千六百圓(御下賜金一九、八〇〇) 災害關係配當壹萬四千貳百圓計五萬壹千八百圓ノ内事務費ハ參百六拾七圓貳拾錢ノ少額ニ止メ他ハ凡テ救療費ニ充當シ最善ノ努力ヲ拂ヒタルモノナリ。

其ノ他特記スベキ事項

昭和九年度ニ於ケル委託診療患者ノ實人員ハ七千五百貳拾貳人之ガ延人員拾壹萬參千貳拾壹人ノ多數ニ達シ何レモ長結果ヲ示シ特ニ之等ノ患者中ニハ全ク醫療ノ途ヲ有セズシテ救療セラレタルモノ又ハ多少ノ資力ヲ有スルモ永キニ重症病苦ノ爲ニ消

費シ空シク病褥ニ呻吟セルガ入院治療ヲ受ケタル爲ニ全快シタルモノ等多數ニ上リ何レモ聖恩ニ感泣シアル實況ナリ。茲ニ尙昭和九年度ノ入院患者六百八名ノ内百名ニ對シ本年一月中心(イ)入院中ノ感想(ロ)入院中ニ要セル費用概算(ハ)醫師及看護婦等ノ處遇(ニ)其ノ他御氣付キノ點ノ四項ニ對シ參考ニ資スル爲往復はがきヲ以テ照會ヲ發シタルニ轉住等ノ爲三、三返戻セラレタルモノ外ハ本人又ハ義務者ヨリ聖恩拜謝ノ眞意ヲ掲ゲテ悉ク返信アリ救療事業ノ施行上相當ノ資料ヲ得タルモノナリ。

實 施 ノ 概 況

- 一、委託診療
 醫療ヲ受クルコト能ハザル者ニ對シ市町村當局、警察官吏、方面委員等ニ於テ調査シ協議シテ上要救療者名簿ニ登録セラレタルモノニ對シ一般開業醫師ニ委託シテ無料ニテ診療セシム。
- 二、出張診療
 僻陬ノ地ニシテ醫療設備ナキカ又ハ設備アルモ地理的關係ニ依リ醫療ヲ受クルニ困難ナル四十個村ニ對シ一ヶ月三回以上地方開業醫師ヲ出張セシメ主トシテ要救療者名簿ニ登録セラレタル者ヲ診療セシム。
- 三、委託助産
 要救療者名簿ニ登録セラレタル産婦ニ對シ一般開業産婆ニ委託シテ無料ニテ助産セシム。
- 四、巡回産婆
 開業産婆ノ居住セザル四十四個村ニ對シ十九名ノ開業産婆ニ委託一ヶ村ヲ隔月毎ニ巡回セシメ妊産婦ノ攝生並育兒ニ關スル注意指導ヲナサシム又分娩ニ遭遇シタルトキハ助産ヲ爲サシム。
- 五、施 藥

醫療設備ナキカ若ハ設備アルモ地理的關係ニヨリ醫師ノ來診アル迄ハ相當ノ時間ヲ要スル僻陬地ニシテ常ニ醫療ニ患シタル五十個村ニ對シ應急藥ヲ配給ス。

冷 害 ニ 對 ス ル 施 設

- 一、無醫凶作町村ノ臨時醫療機關トシテ巡回診療ノ實施
 凶作地ニ於ケル開業醫師ノ普及狀況ハ極メテ惡シク三割以上ノ凶作地十八ヶ村ニ對シ昭和十年一月ヨリ三月迄各々村ニ毎月一回宛ノ出張診療ヲ實施ス而シテ之ガ出張醫師ハ縣醫師會長ノ申請シタル地方開業醫師ニ委託ス。
- 二、應急藥ノ配給
 醫療設備ナキカ若ハ設備アルモ地理的關係ニヨリ醫療ヲ受クルニ不便ナル三割以上減收ノ二十六ヶ村ノ貧困者ニ對シ四千七百七拾圓ノ豫算ヲ以テ應急藥ヲ配給ス。
- 三、醫療救護擴張
 二割五分以上減收ノ凶作地八十七ヶ村ニ對シテハ特ニ救護費ヲ増額シテ救療ノ遺憾ナキヲ期セリ。
- 四、寄生蟲驅除
 凶作農村ノ如キハ粗食ノ爲營養狀態惡化スルノ虞アリ加フルニ寄生蟲ノ害ハ一層深刻ナルベキヲ以テ之ガ對策トシテ凶作地二十六ヶ村ノ人口八萬壹千六百拾貳人ノ五割即チ四萬五百八拾人ニ對シ貳千貳百七拾圓ノ豫算ヲ以テ徹底的驅除ヲ實施セリ
- 五、乳幼兒ノ保護施設
 凶作地ニ於ケル母體ノ營養不良ハ延イテ乳幼兒ノ死亡率激増スルノ虞アルヲ以テ之ガ對策トシテ三割以上減收ノ凶作村六十ヶ村ニ對シ昭和十年一月ヨリ三月迄三ヶ月間乳幼兒保護ノ應急對策トシテ毎月一回地方開業産婆ヲ派遣シテ妊婦診療指導貧困者ノ無料助産育兒方法ノ指導等ヲ爲サシメタリ。

其ノ他特記スベキ事項

一、小野某ノ家庭ハ夫婦及十二歳ノ長女ヲ頭ニ四人ノ子女アリ六人家族ニシテ資産下シテ見ルモ其モ少ク夫ハ日雇稼業ヲ以テ月僅カ十四五圓ノ収入ヲ以テ辛クシテ生活ヲ營ミ居ル状態ニアリ。然ルニ妻女當四十四年ハ永年ノ痼疾眼病ノ爲開眼スル能ハザル状態ナルモ之ガ醫療ヲ受クルノ資力ナク日夜苦惱シ居リタルガ恩賜醫療救護券ニ依リ醫師ノ手術ヲ受ケ二ヶ月餘ノ治療ニテ全ク治癒シ患者ハ勿論家族ヲ喜ビ一方其ノ恩恵ヲカキセバ其ノ儘盲目ニナルベキノ處此ノ恩恵ニ浴シ今更御聖恩ノ宏大ナルコトニ感激シ居リ。其ノ恩恵ニシテ其ノ恩恵ヲカキセバ其ノ儘盲目ニナルベキノ處此ノ恩恵ニ浴シ今更御聖恩ノ宏大ナルコトニ感激シ居リ。

二、阿部某當十六年ノ家族ハ母及兄弟ノ六人暮ナルガ資産トシテ住家一棟時價五拾圓位ヲ有スルノミニテ他ニ資産トシテ見ルベキモノナク日雇ニ依リ漸ク生計ヲ爲シ居リタルモ昨年父死亡後其ノ生活益々急迫ヲ告グルニ至レリ。然ルニ本人ハ昭和九年五月初旬頃ヨリ病床ニ臥シ醫師ノ診察ヲ受ケタル結果結核性肩胛關節炎ト判明シ手術ヲ要スト診斷セラレタルモ極貧ノ爲加療ノ途ナク益々病勢募リ此ノ儘放置スルニ於テハ一命ヲ失フ状態トナリ家族一同如何トモナスベキ術ナク只天ヲ仰ギ嘆息シ居ルコトヲ發見シ五月二十三日恩賜醫療救護券ヲ交付入院セシメ切開手術ヲ施シ治療セシメタル結果殆ンド絶望ヲ傳ヘラレタル重病モ前後三十九日ノ加療ニテ全快シ現在ハ健康體ニテ勞働ニ精勵シ本人ハ勿論一家再生ノ思ヲ致シ御聖德ノ宏遠ナルコトニ感激シ居レリ。

以上ハ一例ニ過ギザルモ其ノ他此ノ種ノ事實ハ枚擧ニ遑アラザル狀況ニシテ御聖恩ノ宏大無邊ナルコトニ感激シ居レリ。福井縣

實施ノ概況

昭和九年度ニ於テモ本縣へ御下賜金壹萬四千四百拾四圓拜受シ之ニ國庫補助金壹萬四千參百四拾參圓配當ヲ受ケ縣民一般聖旨ニ感激シ醫療ノ資ニ乏シキモノニ對シ警察署長市町村長ト協調ノ上縣内公私立病醫院へ一般診療ヲ委託シ無醫村ニシテ交通不便ナル村三十二ヶ村ニ對シ最寄醫師ヲ一ヶ月六回定期出張診療ヲ行ハシメ又極々交通不便ノ村出張診療困難ナル僻陬地村

中十ヶ村ニハ縣ヨリ毎月三回巡回診療ヲ行ヒタリ此ノ實施シタル取扱患者數ハ實人員六、〇五〇人延人員九〇、二〇九人ニシテ窮民救療ニ多大ナル實績ヲ擧ゲツ、アリ。

特記スベキ事項

被救護者ハ何レモ貧困者ナルノミナラズ殆ンド醫療ヲ受クルニ由ナキ僻陬ノ山村或ハ交通不便ノ漁村ニ在住者ナドハ僅ニ賣藥等ヲ利用スルニ止マリタリシモノナルモ斯業實施三ヶ年聖旨ノ遍キ徹底ニ依リ聖恩ニ沿スルヤ充分ナル醫療ヲ受クルニ至リ聖恩ノ厚キニ只管感激シ全快者ハ聖恩ノ萬分ノ一ナリトモ報ヒ奉ラムト各々其ノ業務ニ精勵シ居ル狀況ニシテ效果絶大ナルモノアリ更ニ従事醫師ハ聖業ニ參ズルヲ無上ノ光榮トシテ多大ノ犠牲ヲ拂ヒ誠意治療ニ當リタル次第ナレバ醫療上何等ノ懸念ナシ猶恩賜醫療救護ニ關スル挿話二、三ヲ摘録シテ聖恩ノ深キニ感激スル次第ナリ。

(當十六年)

右ハ大野町某ノ兒ニシテ生後間モナク○田方ニ預ケラレ爾來實母ノ所在不明ナルモ○田夫婦ハ實子三名アルニ拘ラズ本名モ又兩親ノ如ク慕ヒ居リタル所數年前ヨリ眼疾ニ罹リ○田方ノ費用ニ依リ大野町及福井市ノ眼科醫ニ付治療ヲ受ケシモ病勢加ハリテ悪化シ殆ンド失明ニ至ラムトセシモ素ヨリ醫療ノ資ニ乏シキ爲充分ナル治療ヲ受クル能ハザルニ依リ困憊ノ極ニ達セル折恩賜醫療救護アルヲ知り町役場ニ付醫療救護券ノ交付ヲ受ケ鯖江町眼科醫方ニ入院治療ヲ受クルヤ○田○○衛ハ絶エズ病院ヲ見舞ヒ慰メ貧シキ内ヨリ小使ヲ與ヘル等本名ノ爲ニ盡シタル殆ンド全快ニ至リタル之編ニ聖恩ヲ賜ナリト感激シ居ルモノニシテ近隣者ニ於テモ賞揚シ居ル状態ナリ。

大工職 ○ 原 (當①十四年吉)

右ハ七名ノ家族ヲ擁シ僅カニ生計ヲ立テ得ル程ノ状態ニアリタル所昭和五年頃ヨリ胃潰瘍ニ罹リ種々治療ニ努メタルモ快方ニ赴カズ從來ノ如キ勞働ニ従事スル能ワズ古物商ニ轉業セルモ收入僅少ノ爲治療ヲ受クルハ固ヨリ糊口ヲ凌グモ困難ナル状態トナリタル所恩賜醫療救護ニ依リ救賀病院ニ入院スルヤ院長ハ深ク本名ニ同情シ懇切ナル治療ヲ爲セルニ依リ四月十四日入院ニテ快癒シ現在救賀町ニ建築中ノ東洋紡績工場ノ建築大工トシテ勞働ニ従事シツ、アリ。

本名ハ從來通リノ健康ヲ回復シ一家ヲ救ヒ得タルハ之編ニ廣大無邊ノ聖恩ニ依ルニ下、深ク感銘シ毎朝東方ニ向ヒ皇居ヲ遙拜シ自家ノ復興ニ努メツ、アリ。

石川縣

實施ノ概况

昭和九年度ニ於テハ前年度ニ於ケル實施方針ニ基キ之ヲ委託診療、出張診療、救療藥配布ニ大別シ石川縣醫師會並縣内ニ於テ開業セル齒科醫師藥劑師及產婆ニ委嘱シ助産以外ハ治療券制度ニ依リタリ、

要救護者選定ニ關シテハ前年度同様戸數割二戸平均額ノ四分以下ノ者ニシテ救療ノ範圍ヲ限定セシメタル結果要救護者戸數二二、五六二戸、人員九九、二五七トナリ前年度ニ比シ戸數ニ於テ二、二八〇戸人員ニ於テ九七二三次ノ増加ヲ示シタリ。

治療券ハ恩賜治療券、恩賜入院治療券、恩賜調劑券ノ三種類トシ之ヲ豫メ町村へ要救護者並ニ前年度患者數等ヲ參酌シテ按分配當シタリ。

而シテ前年度ヨリモ要救護者ガ増加セル結果溢救ニ陥ルコトナキ様町村長ニ注意ヲ與ヘ以テ事業ノ經理ニ當リタリ、然ルニ三月下旬以降降雪量極メテ多ク山村方面交通殆ンド杜絶スル狀況ニ至リ醫師ノ診療ヲ受クルコト亦困難ニシテ治療患者數激減セントセル徵候アリシヲ以テ二月ニ於テ社會課員ヲシテ特ニ山間僻陋村並取扱不成績ナル町村ヲ選ビテ其實施狀況ヲ審査セシメ救療實施ニ付指導ヲナセリ。

元來治療券制度ノミニ依ル救療ハ地理的及天候等ノ關係ニテ患者ノ不便トスルト同多クニ鑑ミ其以對策トシテ昨年ヨリ僻陋村三十ヶ村ニ付左記十種ノ救療藥ヲ配布シタルニ其ノ成績初年度ノ試ミトシテ豫想外ノ良好ニテ左記ノ如キ利用成績ヲ示スニ至レリ。

- 解熱藥 二、七九六個
- 小兒解熱藥 一、一二八
- 鎮咳藥 一、八七四
- 小兒鎮咳藥 八七四
- 腹痛藥 一、二五二
- 頭痛藥 一、四五八
- 胃散 一、二九六
- 下痢止メ藥 八八〇
- 虫下シ藥 六三〇
- 外傷藥 一、三三八

出張診療ニ關シテハ前年度之レヲ九ヶ村ニシキ實施セルモ本年度ハ昨年末ノ實施成績ニ鑑ミ之レヲ十六ヶ村ニ増加シ良好ノ成績ヲ擧ゲ得タリ。

出張診療回數七九一回患者取扱人員三三六七人其他要救護者外ノ村民ニシテ便宜普通治療費ヲ支拂ヒ治療ヲ受ケタル患者取扱人員二五八人ニ及ベリ。

助産取扱ニ關シテハ未ダ十分趣旨徹底セザル向アリ其ノ取扱町村概ネ定マリ居リ全縣下一般ニ及バザルヲ以テ努メテ其ノ利用ヲ督勵シツ、アリ。

實施ノ概況

昭和九年度ニ於テハ大體前年度同様ノ方針ニ依リ實施セリ。

尙實施ニ當リテハ既往ノ經驗ニ鑑ミ能ク市町村及従事員ヲ指導督勵シ各方面委員等ヲ通シ趣旨ヲ徹底ヲ圖リ本事業遂行ニ遺憾ナキ様努メタル結果別表ニ示ス如ク二四、二八二人ヲ診療スルコトヲ得、之等受療者ハ勿論縣民齊シク御聖旨ノ渥キニ感激シ居ル次第ナリ。

一、巡回診療

前年度ニ於テ實施セシ四十六ヶ村中三ヶ村ヲ出張診療トナシ四十三ヶ村ニ對シ四診療班ヲ以テ毎月二回乃至一回巡回診療ヲナシ必要ナル患者ニ處方箋券ヲ交付シ又入院加療ヲ要スル患者ハ財團濟生會ニ委託シテ入院治療ヲセシムル等救療ニ遺憾ナキヲ期シ一ヶ年ヲ通ジテ二〇、二二六人ヲ診療シ、其ノ治療延日數一、八二五日ニ達セリ。

二、出張診療

前年度實施村中委託診療ヲ適當ト認メラル、五ヶ村ヲ廢止シ新ニ三ヶ村ヲ加ヘ計三十八ヶ村ニ對シ地方開業醫ニ委託シテ毎月二回定日ニ出張診療セシメタリ、併セテ診療人員ハ三、〇九四人ニ及ベリ。

三、委託診療

主トシテ巡回、出張診療ヲ行ハザル市町村即チ醫療ヲ受クルニ便ナル地方ニ對シ財團濟生會ヲ通ジ開業醫ニ委託シテ行ヒ、本來ノ財團濟生會ノ施設ト相俟ツテ之等地方ノ救療ニ努メ、取扱實人員普通治療患者九六二人、入院治療患者五人ノ成績ヲ擧ゲタリ。

四、開眼治療

開眼見込アルモ治療ノ資ナキ失明者十三名ニ對シ治療ヲナシタル處中十二名ハ開眼シ或ハ著シク視力向上ヲ見之等ノ者ハ

何レモ皇恩ニ感謝シツ、更生ノ生活ニ勵ミツ、アリ。

五、其ノ他ノ施設

交通不便ニシテ醫療ヲ受クルニ最モ困難ナル山間僻阪ノ一八三部落ニ對シ救急藥ヲ配置セシ外利賀村、南盤谷村ノ醫療施設ニ對シ同施設費ノ約半額ノ補助ヲナシ尙公設産婆ヲ設置セシ三十二ヶ村ニ對シ補助金ノ交付ヲナシ何レモ相當ノ成績ヲ收メタリ。

其ノ他特記スベキ事項

過去二ヶ年半ニ互ル恩賜救療事業ハ醫療ニ惠マレザル窮民ニ如何ニ甚大ナル幸福ト感激トヲ與ヘ、他ノ匡救事業ト相俟ツテ疲弊セル農漁山村ニ如何ニ活力ヲ與ヘタルカハ言ヲ俟タザル處ニシテ、國家非常時ニ際シ縣民ノ思想上ニ及ボセル感化影響ノ看過スベカラザルハ勿論衛生知識ノ向上ヲ促シ、醫療事業ノ關心ヲ高メ縣下各地ニ醫療事業ノ諸計畫ノ出現ヲ見ルニ至リタルハ洵ニ慶賀スベキ現象ニシテ、コレ全ク御聖旨ニ基ク本施設ノ然ラシムル處ニシテ只々感激ノ外ナシ。

山下新川郡山崎村

右ノ者妻及子女一名ノ三人家族ノ一家ニシテ經濟界不況ノ折柄貧苦愈切迫ヲ加ヘ刺ヘ戶主與〇次〇(六十歳)大腿筋炎ヲ患ヒ勞務不能並ニ子女〇ヨ(二十七歳)ハ生來虛弱ノ上カタル性肺炎ニ罹リ病臥シ共ニ投藥ノ資トテハ元ヨリナク糊口ニスヲ窮スルヲ戶主ノ一手ニテ是ヲ支ヘツツ數年ニ及ビタル處昨年(昭和九年)恩賜出張診療ノ診療ニ預リ戶主、子女、共々快癒ノ陽光ヲ得テ今ヤ全ク勞役ニ服スルニ至リタリ爾來常ニ御聖恩ノ宏大ナルニ感激シ日夜聖恩ニ沿シタルヲ思ヒ神佛ニ禮拜シ聊タリモ御聖恩ニ報ヒタシト三人打捕ヒ家業ニ精勵シ愈更生ノ途ニ進ミツツアリ、子女ノ如キハ最近出稼ニ出デタル程ナリ(山崎村長報告)

神通川改修工事ニ就勞セル郭〇〇ト言フ者本村内ニ居住シ妻分娩後經過シク地方醫師ニ診察ヲ乞ヒシニ産脚氣ニテ容易ニ癒ヘズ、夫ノ收入ニテハ到底充分ナル治療ヲ施スコト能ハズ、一家悲嘆ニ暮レ居リシヲ村吏員ノ聞ク所ナリ、恩賜出張診療ノ事情ヲ話セルニ、大ニ喜ビ夫ハ妻ヲ「リヤカー」ニ乗セテ役場ニ來リ該診療班ノ受診ヲ求メ治療セシカハ經過非常ニ良好ニシテ第二日目ニハ其ノ效著シキヲ感嘆シ夫婦共感涙ニ咽ビテ感謝シ最初「リヤカー」ニ載リ來ルモノガ健カニ歩行シテ歸リタリ後態々役場ニ出頭シテ聖恩ノ有難サニ感激シ再三叩頭謝禮シテ歸レリ。(婦負郡宮川村長報告)

中新川郡濱加積村

○ 川 ○ 次 ○

診療ヲ受ケタル患者一同聖旨ニ感激シ居ルモ就中右ノ者ハ慢性的疾患ニテ巡回診療實施以來引續キ治療ヲ受ケタリ、常人ハ貧困ニシテ充分ナル治療ヲ受クルコト能ハズ配置賣藥ヲ服藥シ居リシ處本施設ソアルコトヲ知リ巡回診療ヲ受ケ來ルニ宏大ナル御聖旨ト親切ナル診療ニ感激シ、皇室ノ方向ニ參拜シ然ル後服藥スルヲ常トシ現在テハ著シク效果アリテ至快ニ近キ程ナリ。(濱加積村長報告)

東礪波郡養谷村

○ 又 ○

右ノ者出張診療ノ實施ニ際シ聖恩ニ深く感激シ藥ハ一度ハ必ず神前ニ供ヘ御禮申上ゲタル上服藥セリ、又池〇磯〇〇〇〇ガ患者ハ治療券交付ノ都度感泣セリ。(養谷村長報告)

岡山縣

實施ノ概況

昭和九年度分醫療救護實施ニ關スル通牒ニ接シ救療費ノ配當アリタルニ依リ之ニ縣費ヲ加ヘ前年度同様委託診療、出張診療、巡回診療及私設救療團體助成ノ四方法ニ依リ實施スルコト、シ、醫療報酬藥價等ニ關シ岡山縣醫師會及岡山縣藥劑師會ト前年度通ニテ協定スルト共ニ市町村ニ對シテ救療費ノ割當ヲ爲シ直ニ之ガ施行ニ關スル通牒ヲ關係ノ向ニ發シ且本事業ノ圓滑ナル施行ヲ期スル爲各郡市毎ニ市町村長、警察署長、濟世顧問、濟世委員及郡市醫師會長等ヲ召集シ之ガ打合會ヲ開催シテ關係者ノ聯絡ヲ圖レリ、偶客年九月縣下ヲ襲ヒタル未曾有ノ風水害ニ依リ罹災者中救療ヲ要スルモノ多數アルヲ以テ巡回診療班ヲ組織シテ罹災者救療ニ遺憾ナキヲ期セリ、然シテ右救療者中地方ニ於テハ治療上不便ヲ感ズル患者ニ對シテハ出來得ル限リ岡山醫科大學附屬醫院及日本赤十字社岡山支部岡山病院等ニ入院治療セシメタリ、尙近時要改善地區住民ハ經濟逼迫シ窮乏特ニ著シキモノアリ要救療者激增ノ現狀ニ鑑ミ縣下要改善地區中窮乏著シク而モ要救療者多數アリト認メラル、六ヶ町村ニ對シ更ニ加ヘテ内科、眼科ノ専門醫ニ囑託シ右町村ヲ中心ニ特別診療ヲ實施シ四、二五〇人ヲ診療セリ。○ 日 臨 マ ナ リ、 濟 世 委 員 本 事 業 實 施 ニ 當 リ テ ハ 御 聖 旨 ヲ 奉 體 シ 要 救 療 者 ニ 對 シ 恩 賜 診 療 券 交 付 ノ 必 要 ナ ル 場 合 ハ 先 ツ 之 ガ 趣 旨 ヲ 説 明 上 交 付 シ タ ル ガ 之 等 受 療 者 ハ 何 レ モ 赤 貧 ノ 爲 自 ラ 醫 療 ヲ 受 ク ル ノ 途 無 キ モ ノ ナ ル ヲ 以 テ 何 レ モ 皇 室 ノ 御 仁 德 ニ 厚 ク 感 激 シ 幸 ニ 治 療 輕 快 ニ 至 リ シ 者 ハ 聖 恩 ノ 萬 一 ニ 奉 答 致 ス ベ ク 生 業 ニ 精 進 シ ヲ、 ア リ 其 ノ 主 ナ ル モ ノ ヲ 摘 記 ス ル ニ

其ノ他特記スベキ事項

一、津山市材木町〇本〇次〇(四十五歳)ハ人力車夫ヲ又妻女〇シハ子守ヲナシ細々生計ヲ立テ居リシニ本年二月十七日發病難澁セルヲ受持濟世委員戸〇暢〇氏ノ發見スル所トナリ直ニ市役所ヘ申出テ、恩賜診療券ノ交付ヲ受ケ直ニ津山市山下林醫院ヘ入院セシメタリ病氣ハ肝臓炎並腫脹ニテ高熱ヲ發シ疼痛激シク高度ノ黃疽症狀ヲ呈シ食欲減退全身心臓共衰弱シ危險ニ瀕セシヲ以テ遂ニ切開手術ヲ行フニ至リシガ豫後極メテ不良三月十五日頃ニハ後十日ガ困難ナリトマデ診断セラレシガ醫師

ノ涙グマシイ努力ニ依リサシモノ難症モ漸次輕快トナリ五月初ニ自出度退院セリ本人誠妻女ノ歡喜ハ言語ニ盡シ難ク此ノ御恩ヲ奉謝ノ爲聖壽ノ萬歲ト國家ノ隆昌ヲ祈念スベク五月中旬四國八十八ヶ所ノ靈場巡拜ニ單身出發セリ。

一、苫田郡田邑村山〇和〇(三十八歳)夫一〇トノ間ニ子女五人アリ麻裏作リヲ業トシ生計ヲ營ギ、昭和九年七月十四日俄ニ挫骨神經痛並腦炎ヲ發シ殊ニ神經痛激シク立動キモ叶ハヌ様ニナリ其ノ日暮シノ一家ハ忽チ途方ニ暮レシガ此ノ事ヲ知リシ村長ハ恩賜診療券ヲ下付シ醫師ノ診療ヲ受ケシムルコト、セシガ歩行モ叶ハヌヲ以テ醫師ハ度々往診注射其ノ他種々手ヲ盡シタル結果意外ニ早く約十日程ニシテ全治シ憂愁ニ閉サレタル一家モ再ビ明ルキ家トナレリ。

一、苫田郡田邑村〇口〇(三三)歳内縁ノ夫トノ間ニ二男二女アリ、妻ハ昭和九年六月妊娠腎臟炎ヲ起シ子宮膣ヲ引起シテ危險ニ瀕セシモ初メ暫クハ自力ニテ療養セシモ間モナク療養費モ絶ヘ死ヲ待ツバカリトナリ居ルヲ受持濟世委員之ヲ發見シ恩賜診療券ヲ與ヘ尙村濟世會ヨリモ治療費ヲ補給シテ醫師ヲ往診ヲ求メ流産ノ手術ヲ受ケ稍輕快トナルニ及ビ津山市某專門醫ニ就キ治療シ見事一命ヲ取止ムルニ至リ大ニ悔悟セリ、受持濟世委員ハ夫婦共業ニ精勵スル様輔導ニ努メ居リ、恩賜一、上房郡有漢村陸〇〇(三十三歳)ハ妻及子供二人アリ數年前ヨリ移住シ舊樓反古買テ業トシ傍日雇ヲセリ、性至ツテ温良ニシテ誠ニ忠實ニ働キ漸ク一家ノ糊口ヲ凌ギタリシガ陸〇〇ハ病氣ニ罹リ其ノ自ノ家計ニ苦シシガ妻健氣ニモ生懸命立働キ病夫ノ看護ヲ怠ラザリシモ最早如何トモナシ得ザルノ状態ニ至ル茲ニ於テ近隣ノ者集リテ世話スルニ至リ遂ニ濟世委員村役場等ヨリ救護ヲ受クル事トナレリ、患者ハ恩賜診療券ニ依リ倉敷中央病院ニ入院セシメ治療セシメ治癒セリ、婦人ハ此ノ恩澤ニ沿シタル事ヲ一家ハ無上ノ光榮トシテ感激シ幾度カ村役場ニ來リ聖恩ハ厚キニ感激セリ、恩賜診療券ヲ以テ行ハシメ能ハザル窮狀ヲ同部落ノ中島圓吉氏同情シ金品ヲ貸與シテ保護セルヲ小倉濟世委員ノ知ル所トナリ早速町長ト協議シ本事業ニ入院ノ趣旨ヲ説明ノ上恩賜診療券ヲ交付シ尾島婦人科醫院セシメ手術セシガ經過頗ル良好シ病氣全快セリ、恩賜ニ依ルモノナリト感激シ生業ニ精勵セリ。

廣島縣 實施ノ概況

一、上房郡高梁町小〇榮(十九歳)ハ小學校時代ヨリトホトホト重症患者ニシテ其ノ當時相當ノ手當ヲ受ケタルモ治癒スルニ至ラズシテ卒業シ眼疾ノ爲針ニ絲ヲ通ス事能ハザリシ殊ニ最近ニ至テハ眼瞼上方ニ返シテ見苦シキ状態トシテ受持濟世委員ハ恩賜診療券ヲ交付シ診療ヲ受ケシメ結果良好シテ全快シ裁縫ニ喜ビテ行ノ事トナレリ、本人ハ元日ヨリ娘ヲ持シ母親ノ歡喜例ヘンモノナシト「洪恩ノ厚キニ感激セリ」。

- 廣島縣 實施ノ概況
- 一、要救療者資格
 一、上房郡高梁町小〇榮(十九歳)ハ小學校時代ヨリトホトホト重症患者ニシテ其ノ當時相當ノ手當ヲ受ケタルモ治癒スルニ至ラズシテ卒業シ眼疾ノ爲針ニ絲ヲ通ス事能ハザリシ殊ニ最近ニ至テハ眼瞼上方ニ返シテ見苦シキ状態トシテ受持濟世委員ハ恩賜診療券ヲ交付シ診療ヲ受ケシメ結果良好シテ全快シ裁縫ニ喜ビテ行ノ事トナレリ、本人ハ元日ヨリ娘ヲ持シ母親ノ歡喜例ヘンモノナシト「洪恩ノ厚キニ感激セリ」。
- 二、診療券配付方法
 縣下千六百五十名ノ方面委員ニ對シ豫メ診療券ヲ配付シ置キ委員ヨリ該當患者ニ交付セシム。
- 三、事業方法
 (イ) 委託診療
 診療ハ廣島縣醫師會廣島縣齒科醫師會トノ契約ニ依リ之ニ引請ケシメ調劑ニ付テハ廣島縣藥劑師會トノ契約ニ基キ一劑一日分五錢ニ協定ス。
- (ロ) 出張診療
 醫師ナキ町村並僻陋地四十ヶ町村ヲ選定シ一ヶ町村ニ割合ニテ出張診療所ヲ設ケ囑託醫師ニ對シ六人平均三百四拾圓ノ見込ヲ以テ手當ヲ支給ス。
- 四、診療成績
 廣島縣 實施ノ概況

本年度中に於テ取扱ヒシ患者ハ實人員一六、八一七名

延人員三〇四、〇一九名ニシテ醫師ヨリノ請求點數六一六、五四五點四(前中期三三七、九六一點四)ニシテ査定點數四八三、二七

二點五(前中期二六四、三〇五點五)ニシテ一點ノ單價前半期八錢三厘二六一日十二錢九厘後半期三點單價十錢二六一日十六錢四厘

ナリ。

五、出張診療所

縣下四十ヶ所ニ於ケル出張診療所取扱患者左ノ如シ...

有料患者實人員 一一、八七九名

恩賜救療患者實人員 一、四六四名

濟生會取扱患者實人員 三名

救護法取扱患者實人員 六名

其ノ他特記スベキ事項

(其ノ一) 取扱 廣島縣天滿橋方面委員 杉本秀一... 昭和九年十月五日日本員受持區内第二種カード級者〇立〇吉(三十九歳)ガ廣島市土木人夫(賃銀一日金一圓也)トシテ仕事中腹痛ヲ起シ、中途歸宅スルヤ早速醫師ノ診療ヲ受ケタレ共更ニ快復セザルノミカ、ソノ上長男〇夫(三歳)モ又急病ニテ漸ク醫師ノ來診ハ受ケタレ共藥ヲ求ムルニ金無ク、勿論收入ノ途斷タレテ居レバ食スル事モ出來ズ、遂ニ本員宅ニ妻來リテ右ノ有様ヲ申シタルニヨリ、本員ハ早速ソノ家ヲ訪ネ見レバ家中一物トシテ見當ラズ醫療費ノミカ食物ヲモ買ヒ求ムル金ハ一厘モナキ有様ナレバ本員ヨリ金貳圓也ト共ニ恩賜診療券ノ有難サヲ話シ聞カセ父子ニ對シ恩賜診療券三通ヲ與ヘタレハ急ギ内科醫以診療ヲ受ケタリ、然シテ一週間ノ後ニハ大變父子共病狀快復ニ趣キタレ共、食スルニ米無ク無論金モ無ク如何共此事出來ザル有様故、本員ハ市社會課内方面助成會ヨリ白米五升ヲ貰ヒ金貳圓也ト共ニ與ヘ共其急場ヲ救ヘ然ルニ父子病氣ハ其

ノ後十日間餘ニシテ全快ニ近ヅキタリ、本人等ノ喜ビハ申スマデモナク一家ハ全ク光明ヲ見出シタル如ク喜ブ有様ハ見ヌ人ノ想像ガモ付カヌ事ト思ヘリ之一重ニ恩賜診療券ノ賜ニシテ、若シコノ時右恩賜診療券無カリセバ彼等父子ハ病ヒノタメ再生ヲ得ルコト出來ザル次第ニテ第一種カード級者トシテ永ク國費ノ救助ヲ受クル身トナリシナラシト彼等ニ話タレ處唯聖恩ハ有難クニ感泣セリ、現在ハ壯健ニシテ一家安樂ノ生活ヲ營ミツ、アリ。

(其ノ二) 取扱 天滿橋方面委員 〇崎〇行

廣島市福島町三三一番地〇本〇太〇ハ妻〇デノト五人(十二歳ヲ頭ニ)ノ子供ヲ養育シツ、苦シキ中ニモ平和ナル生活ヲナシ居レリ。一日平均收入一圓六、七十錢ノ牛肉行商ニ依リテ一家ノ生計ヲ立テ居リタル處偶々〇太〇ハ昭和十年一月中旬ヨリ腎臟病ニ心臟病ヲ併發シテ臥床スル身トナレリ。

貯無キ一家ハ當日ヨリ生活ニ窮スル状態ニ陥リタリ。カ、ル事情ニテハ醫師ニモ就キ得ズニ同悲歎ニ暮レ。遂ニ妻ハ〇太〇ハ一月末日頃本員ニ右ノ様子ヲ具申シ來リ救濟ヲ出願セリ。本員ハ早速〇本ノ家庭ヲ訪問シ家庭調査ヲセシ處救護法ニ該當セザル理由アルヲ以テ取扱ヘズ本員ニ於テ白米五升及金貳圓也ヲ與ヘ一家ノ生活上ノ急場ヲ救ヒ〇太〇ニ對シテハンノ有難キ事由ヲ話シ聞カシ恩賜診療券ヲ一枚與ヘ早速醫師ニ診察治療ヲ受ケシメタリ。爾後本員ハ〇太〇一家ノ生計ヲ支ヘル可ク市社會課ヲ訪レ右ノ事情ヲ報告シ、方面助成會ヨリ白米五升及妻〇デノノ生業資金トシテ五圓也ヲ貰ヒ受ケンノ金子ニテ下駄表ノ材料タル竹皮ヲ買ヒ與ヘヒデノニ商賣セシメタリ。一家ハ辛シク生活ヲツツケ行ク事ヲ得タリト雖モ極メテ苦難ノ中ニアレバ本員ハ小學校ヲ訪レ通學中ノ三人ノ子供ニ給食兒童ノ取扱ヲ爲シモラヒ生活ノ苦ヲ減ズ可ク盡力シタリ。

斯クスル中〇太〇ノ病氣ハ漸次快方ニ趣キ殆ド全快ノ状態ニ還リタリコノ喜ビモ旬日ニテ妻ノ〇デノガ長キニ亘ル心身ノ疲勞ノタメ臥床スルニ至レリ。本員ハ再ビ恩賜醫療券ヲ與ヘ、〇太〇ノタメ町内有志ニ計リ若干ノ資金ヲ得テ牛肉行商ヲ爲サシメタリ。其後〇デノモ全快回復シ目下ハ夫婦共稼ニテ子供モ給食兒童ノ扱ヲ斷リ親子七人樂シキ生活ヲ爲スニ至レリ。